

2025年度  
決算

# 高い健全性と収益性を確保 しています

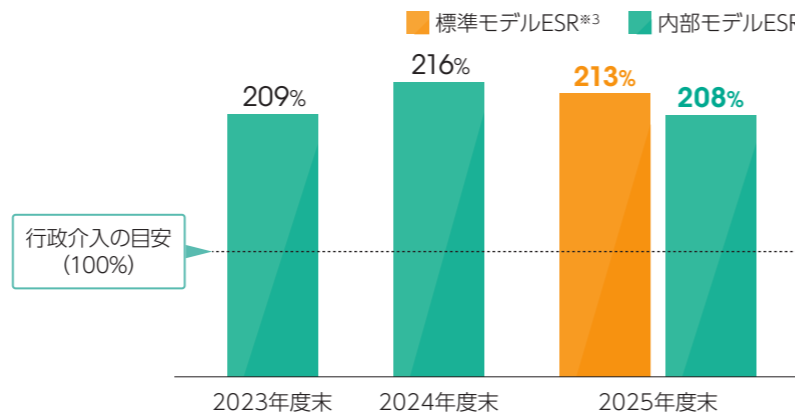
## グループESR※1

将来のリスクに備える“資本の余裕”を示す指標です  
引き続き十分な健全性を確保しています  
当社では、安定的な配当還元等の水準を165%以上に設定しています

健全性の詳細は  
こちら



**208%** (速報値※2)



## グループ保険料(除く再保険収入)※5

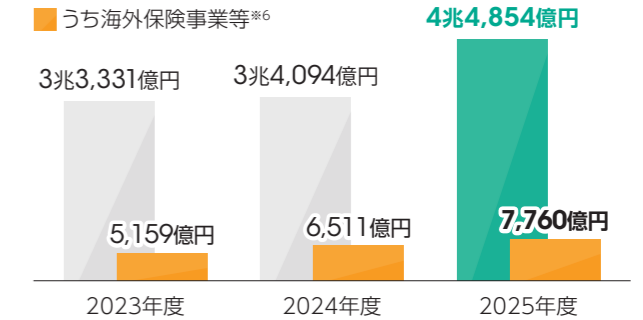
グループ全体の売上を表しています  
多くのお客さまにご愛顧いただき、増収となりました

収益性の詳細は  
こちら



**4兆4,854億円**

(対前年 +1兆759億円)

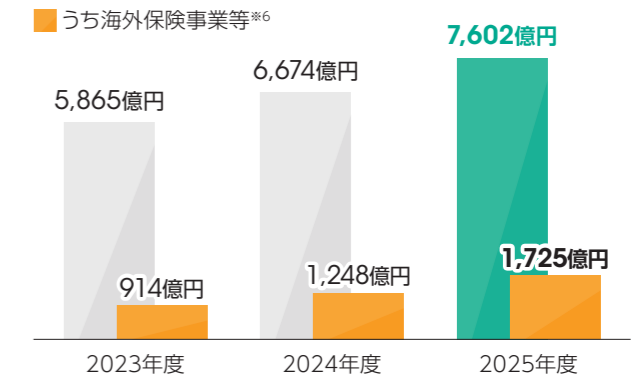


## グループ業務利益

グループ全体の収益性を表しています  
引き続き高い収益性を確保し、増益となりました

**7,602億円**

(対前年 +927億円)



## 当社は2つのESRを測定し、低い方の数値で健全性を判断します

- 2025年度決算から、保険会社の健全性を表すソルベンシー・マージン比率の計算方法が変わりました
- 新しいソルベンシー・マージン比率は、ESR(イーエスアール: Economic Solvency Ratioの略)と呼ばれます※4

### ①より健全性を確認できる指標に変更となりました

- これまでよりも、評価方法が厳しくなったため数値は下がります
- これまでのソルベンシー・マージン比率1,000%程度が、ESR200%程度に相当します
- 金融庁による業務改善命令の対象となる目安は100%です

### ②「標準モデル」と「内部モデル」の2つのESRがあります

- ESRは2つの種類があり、計算方法や目的が異なります
- 当社はどちらのESRも十分な水準を確保することが重要と考え、2つのESRのうち「低い方」で当社の健全性を判断しています

	計算方法	目的	健全性評価
標準モデルESR (法令上のソルベンシー・マージン比率)	業界共通の基準	金融庁による保険会社の監督 (法定の指標であり、100%を下回ると業務改善命令の対象)	2つのESRのうち「低い方」で当社の健全性を判断
内部モデルESR	当社独自の仕様	当社の業務実態に即した健全性評価	

※1 標準モデルESRと内部モデルESRの低い方の数字  
※2 監査法人による外部監査後に確定  
※3 標準モデルESRは2025年度末以降のみ計算  
※4 法令上の名称はソルベンシー・マージン比率のまま

## 健全な財務内容で、格付会社から高い評価を得ています

2026年5月1日現在

日本格付研究所 (JCR) 保険金支払能力格付 <b>AA</b> 10段階中 上位2番目	格付投資情報センター (R&I) 保険金支払能力 <b>AA</b> 9段階中 上位2番目	ムーディーズ (Moody's) 保険財務格付 <b>A1</b> 9段階中 上位3番目	S&P 保険財務力格付け <b>A+</b> 9段階中 上位3番目
---	---	--	---

- 格付とは、会社の収益力・財務状況などをさまざまな角度から総合的に評価し、「AAA」「AA」～「D」などの記号を用い10段階程度で表したものです
- 格付は、上記時点での格付会社の意見であり、将来的に変更・保留・撤回されることがあります
- 記載の格付会社は、金融庁の登録を受けた信用格付業者です
- それぞれの格付カテゴリ内での信用力の相対的な強さに応じてプラス記号(+)、マイナス記号(-)または数字記号が付加されることがあります
- 上記の格付は、当社が依頼して取得したものです
- 格付は、個別の保険契約の加入・解約・継続を推奨するものではありません

※5 「グループ保険料(除く再保険収入)」は、連結損益計算書上の保険料等収入である「グループ保険料」から、明治安田単体の再保険収入を除いたもの  
※6 明治安田単体以外の合算